
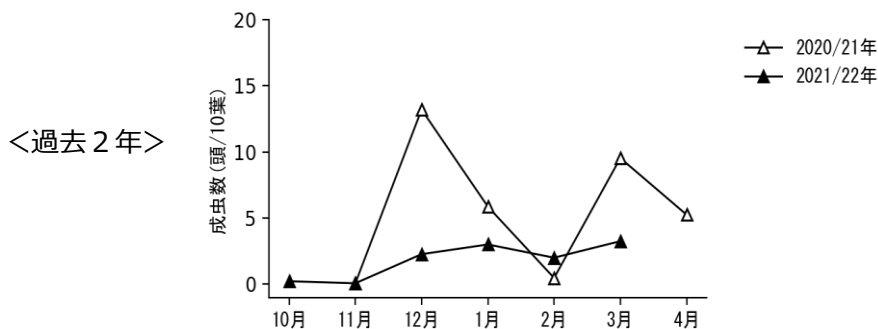
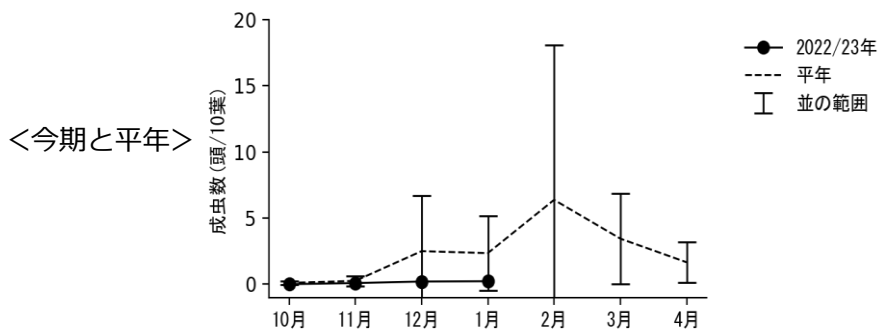


作物	さやいんげん(平張)	地域	沖縄群島
病害虫名	ミナミキイロアザミウマ		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報	1 月からの増減傾向	↗	
	2 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果


成虫数の推移



・発生ほ場率33.3% (平年 : 44.4%)

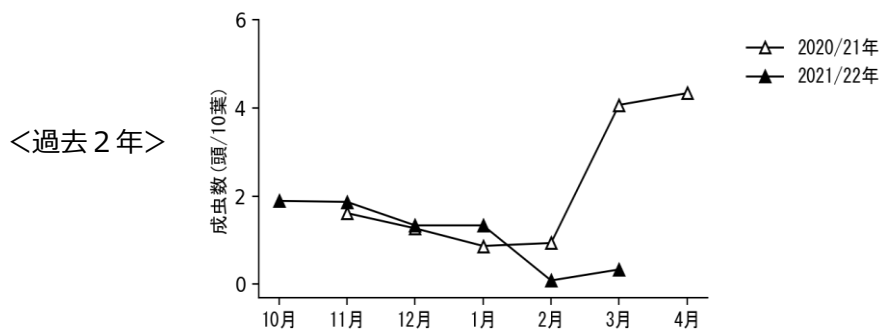
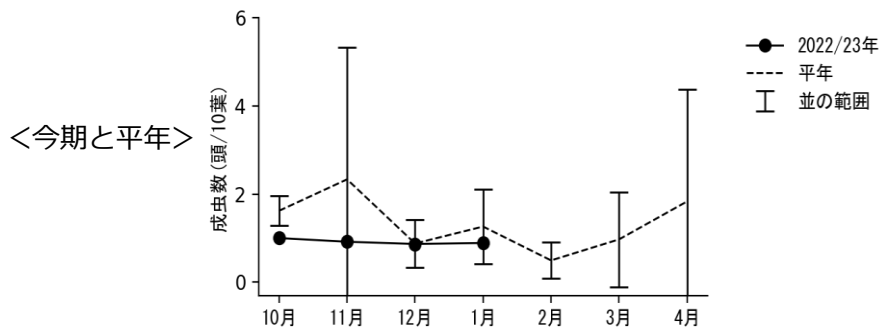
防除のポイント

- ・ほ場内外の雑草は本種の発生源となるので、除草を行う。
- ・多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

作物	さやいんげん(平張)		地域	沖縄群島
病害虫名	① タバココナジラミ			 <p>成虫</p>
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	並		
予報	1 月からの増減傾向	↓		
	2 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)		

調査結果

成虫数の推移




・発生ほ場率66.7% (平年 : 80.0%)

防除のポイント

- ・ほ場内外の雑草は発生源になるので除去する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
また、薬剤抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や微生物農薬を使用する。

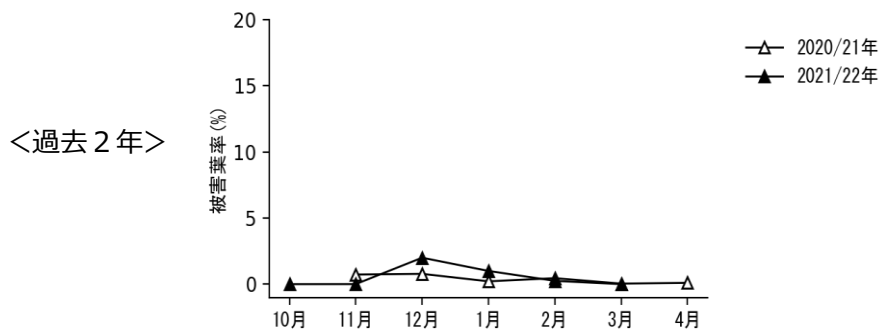
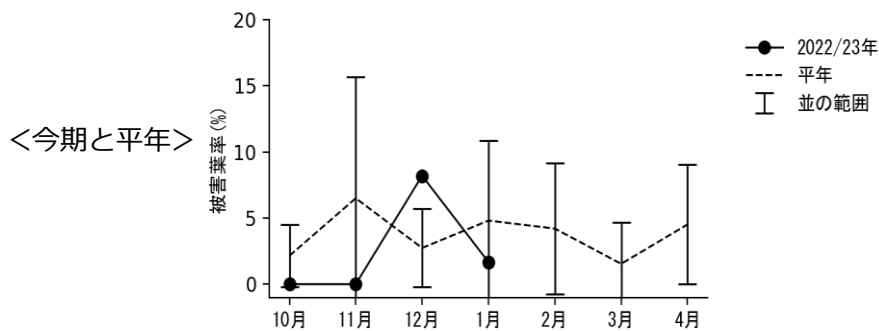


幼虫

作物	さやいんげん(平張)	地域	沖縄群島
病害虫名	② ハモグリバエ類		
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報	1 月からの増減傾向	→	
	2 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

被害葉率の推移




・発生ほ場率33.3% (平年 : 75.0%)

防除のポイント

- ・摘葉等による残さは成虫の発生源となるので、ポリ袋に入れるなどして、ほ場外に持ち出し処分する。
- ・本種は薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
また、野外に多数の在来天敵が存在するため、天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を使用する。

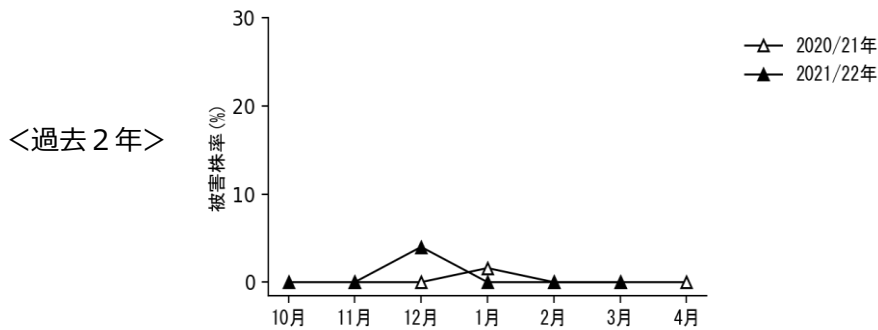
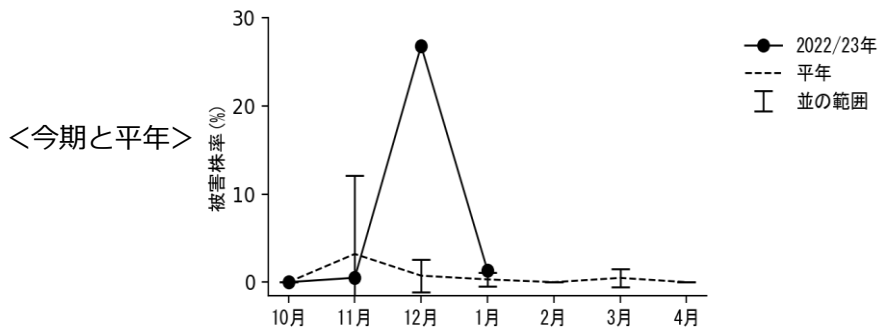


被害葉

作物	さやいんげん(平張)		地域	沖縄群島
病害虫名	③ ホコリダニ類			
調査結果	1 月の発生量 (平年比)	やや多		
予報	1 月からの増減傾向	→		
	2 月の発生量 (平年比)	やや多		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)		

調査結果

被害株率の推移



・発生ほ場率66.7% (平年：6.2%)

防除のポイント

- ・発育速度が早く、短期間で高密度になりやすいため、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤が到達しにくい生長点付近や未展開葉に潜っているため、葉散は丁寧に行う。
- ・ほ場内外の雑草は本種の発生源となるので、除草を行う。